

令和 6 年 5 月 17 日

市政記者クラブ 様

防災危機管理局
危機対策課
担当：山田・福岡
電話：972－3522

令和 6 年度名古屋市総合水防訓練の実施について

出水期を迎えるにあたり、地域住民に対して水防の重要性と水防に関する基本的考え方の普及を図り、水害の未然防止又は軽減に資すること及び出水期を前にした水防体制の強化を図ることを目的として、下記のとおり関係機関及び住民の協力のもとに名古屋市総合水防訓練を実施しますのでお知らせします。

記

1 訓練実施日時

令和 6 年 5 月 26 日（日）8 時 00 分から 12 時 00 分

（詳細な訓練時間は各区の計画による）

※全市一斉情報伝達訓練における同報無線の吹鳴は、8 時 30 分及び 9 時 00 分の 2 回実施

2 訓練内容（詳細については別紙 1 参照）

(1) 全市一斉情報伝達訓練

避難情報を地域住民が迅速、確実に入手することを目的とし、防災スピーカーをはじめとした様々な手段を活用し、全市一斉の情報伝達訓練を行います。

(2) 全市一斉避難訓練

地域住民の安全・確実・迅速な避難を目的とし、避難情報の発令を起点とする、市本部、区本部、地域住民が一体となった避難訓練を行います。

(3) 住民参加型訓練

地域住民の水防意識の高揚を目的とし、体験型・実践型の訓練及び知識の普及啓発を行います。

(4) 水防活動訓練

水害の未然防止や被害の軽減を目的とし、消防機関を中心に実践的な訓練等を行います。

3 訓練実施場所等

別紙 2 参照

4 その他

令和 6 年 5 月から 6 月までの間に、各局室において風水害時の各局室独自の業務を円滑に行うことを目的とした訓練も行います。

5月26日（日）名古屋市総合水防訓練

～訓練の流れ～

全市一斉情報伝達訓練

市内全域の同報無線や防災ラジオ、市公式ウェブサイト、防災アプリ等により、8時30分に高齢者等避難、9時00分に避難指示を伝達

※高齢者避難・避難指示の際にはサイレンが鳴ります

高齢者等避難：高齢者など避難に時間を要する人が、早めの立退き避難又は屋内安全確保を促すために発令

避難指示：災害が発生するおそれが高く、危険な場所からの立退き避難又は屋内安全確保を促すために発令

避難行動の開始

全市一斉避難訓練

安全で確実な避難のために各種災害対応を一体的に実施



区の職員、消防団による
避難情報の広報



区の職員、消防団、警察などによる
避難誘導



地域内での要配慮者の
避難支援

避難完了

住民参加型訓練及び水防活動訓練

各区の訓練会場において風水害に関する様々な体験型・実践型の訓練（土のう・水のう作成等）及び消防機関を中心とした実践的な訓練（冠水時歩行やボート組み立て・搬送等）を実施

※名古屋市公式ウェブサイトや SNS でも災害に関する情報や避難に関する情報提供を行います。

※訓練に参加できない方も※

本格的な大雨や台風シーズンを迎える前に、令和6年2月にリリースした「名古屋市防災アプリ」や令和5年3月に全戸配付した「なごやハザードマップ・防災ガイドブック」、市民一人ひとりの避難行動計画を作成するための「わが家のマイ・タイムライン」を活用し、災害への備えを確認してください。

令和6年度 各区総合水防訓練 一覧

別紙2

区	実施場所	訓練の特色等
千種	千代田橋小学校	・住民向けブースの充実、自宅で実施できる簡易水防工法の体験、ボランティアセンターの紹介 ・指定緊急避難場所開設訓練を実施、避難誘導後、住民向けに講習を実施
東	矢田川橋緑地 東桜小学校 山吹小学校	・水防活動訓練は、矢田川橋河川敷で、河川が氾濫する想定の下、大規模災害に対応した訓練を実施 ・住民参加型訓練は、避難所生活の中で問題になりやすいトイレ、飲料水についてそれぞれ環境事業所と上下水道局営業センターの職員より設置方法のデモンストレーション等を実施
北	水分橋緑地	・河川敷において、土のうを活用した実践的な水防工法訓練を実施 ・区内全消防団が所有するゴムボートの組立訓練を実施 ・消防署、警察署のヘリによる水難救助訓練を実施 ・水深の浅い初期の段階において家庭でできる浸水対策として、簡易水防工法訓練を実施 ・倒木・がれきなどにより、道路へ散乱した障害物を除去する訓練を実施
西	比良西小学校	・道路冠水を想定したう回路を設定したうえで住民の避難誘導を実施するほか、地区本部から区本部への避難者数等の報告はデジタルツールを活用し、連絡体制について新たな運用を試みる
中村	八社小学校	・身近なものを利用した都市型簡易水防工法の説明、実演
中	老松小学校	・屋内を中心とした、幅広い来場者が体験・見学できる訓練等を実施
昭和	村雲小学校	・水害時の避難行動を実践的に学ぶため、膝上の水から避難する冠水時避難体験訓練等を実施
瑞穂	豊岡小学校	・会場以外の学区と、デジタル無線を用いた区役所との交信訓練を実施 ・住民参加型訓練で、令和6年能登半島地震の現地写真を用いた被災状況の説明や避難所にある非常用通信機器の取り扱い訓練も実施
熱田	高蔵小学校	・ボート避難訓練において、小学校のプールを利用し、ゴムボードによる避難体験を実施
中川	富田中学校	・各公所（署）・消防団による体験型・実践型の水防工法訓練を行い、住民の水防に対する知識の普及啓発と意識の高揚を図る
港	戸田川緑地 野跡小学校	・多くの河川が縦断し洪水リスクが高い地理的特性から、戸田川において河川巡視・水難救助訓練を実施し水防体制の確認を実施
南	笠東小学校	・子どもや子育て世代向けの防災ブースや防災啓発ブースの設置 ・要配慮者の参加による避難訓練の実施及び災害時の支援行動の確認 ・仮設トイレ、地下式給水栓及び非常用発電の使用方法的確認
守山	志段味東小学校 矢田川左岸大森橋緑地	・河川敷だけでなく、小学校でも土のう作成訓練を実施 ・令和6年能登半島地震の派遣の経験を交えて、避難所に関する講話を行い、日頃からの備えに繋げる機会とする
緑	鳴海中学校	・鳴海、相原両学区の合同開催とし、2学区から住民が参加 ・消防団による、水害に関する講習（都市型簡易水防工法訓練・ボート組立を予定）を実施 ・各ボランティアによる防災啓発ブースを設置し、意識啓発を図る
名東	極楽小学校	・住民参加型訓練については、住民がそれぞれ自主防災会ごとに現地本部に集まり、現地本部の場所や自主防災会の役割などを確認する避難訓練を実施するとともに、「地下式給水栓設置訓練」「仮設トイレ組み立て訓練」など各班に分かれて防災教室を実施予定 ・水防活動訓練については、消防署、消防団による簡易水防工法の実演、土のうの作成、各種工法を実施する予定
天白	山根小学校	・実施学区の山根学区のうち、浸水想定のある地域について重点的に訓練を実施 ・区本部と地区本部のやり取りにLINEのオープンチャット機能を使用 ・防災ジオラマを使用した、防災講習を実施 ・避難者に、ブルーシートを提供し1人当たりの居住スペースを示す